

とんぐい村の こみ・すく通信

令和3年12月10日発行 第18号
更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介(その12) よい良い人間関係を築くために

11月24日、「さらべつほーぷ」の竹田先生(村診療所医師)が中心になり、更別中央中2年生に「自分も相手も大切に作るコミュニケーションスキル」の授業をしてくださいました。



5時間目は、部活動の中でのトラブルが起きた時、どんな解決をしていったら良いか考えました。一番良いと思う解決方法を選ぶには、次の3つのステップを踏むことが大切だということ学びました。

- ステップ1 STOP「止まって」
何が問題なのかを明らかにする
- ステップ2 THINK「考えて」
選択肢と結果を予測してみる
- ステップ3 GO「決めよう」
相手にも配慮したより良い解決方法を考える

6時間目は、顔の見えないオンラインのコミュニケーションの中で、相手の気持ちに配慮した上で、はっ【ロールプレイングの様子】きり断る練習をしてみました。子どもたちは「オンラインゲーム」と「LINE電話」の2つに分かれ、セリフを考え、台本を書きました。その後、グループで各役割に分かれ、ロールプレイング(役割演技)をしました。

今の時代に合った大事なコミュニケーションの仕方を学びました。



第3回CS委員会開催

子どもたちのインターネットとの付き合い方をみんなで考えよう

11月18日に開催された第3回CS委員会。それまでの会議内容、こみ・すく通信、地域と連携した教育活動、みんなの学校応援団の登録状況について報告がありました。



8月19日に開催された合同会議では、「子どもたちの生活習慣、インターネット利用に関するアンケート」の結果を受けて①アンケート結果からの課題等②子どもの実態から、大人は何をしていくかについて熟議いただきました

それを受けて今回のCS委員会では、②の部分について更に話し合いを重ねました。

子どもたちにネットと上手に付き合ってもらうために

- ・子どもと一緒に、使用時間及び終了時間も含めたルールを作っていく。(基本的には家庭で)
- ・大人がネットについて学び、子どもにも知識を身につけさせる。
- ・ゲームの内容を大人が把握し、不適切な内容なら止めさせる。
- ・ゲーム依存・スマホ依存の危険性について大人も子ども知る必要がある。
- ・親子でのコミュニケーションを大事にし、インターネットの使い方について話し合う。

今後の方向性として

多くの機会子どもたちのネットとの付き合い方について話し合うことが必要であり、来年度もCSで熟議していく。2月の村民集会でも地域の方や他の保護者の方も含めて考える機会にできればという意見が出ていました。

